

第 34 回生物学技術研究会への参加報告

技術センター 塩路 恒生

1. はじめに (目的)

生物学の研究に携わる大学及び研究機関等の技術職員が日常関わっている研究支援活動における成果や問題点の発表を聴講し、技術の向上、交流及び情報交換を図ること、さらには、自らの業務の成果を発表することを目的として参加した。

2. 期間・場所

期間：令和 5 年 2 月 16～17 日 2 日間

場所：オンライン開催

3. 参加者等

受講者：全国の技術系職員 約 150 名

4. 研修内容

1 日目 ・研修講演「脳波非線形ダイナミクスのデータ解析と数理モデル化による計算理的神経科学研究」

生理学研究所 神経ダイナミクス研究部門 北条 圭一 教授

・奨励研究採択シンポジウム 12 件

2 日目 ・ポスター口演発表 28 件

・特別講演「生理学技術研究会を振り返って」

生理学研究所 技術課 大河原 浩 課長

・オンライン見学会

5. まとめと感想

3 年連続で、新型コロナウイルス感染症対策でオンライン開催となった。技術職員の発表については、Zoom を使った発表であった。各発表については、専門的なものから技術職員の組織に関するものなど幅広い発表があり、参考となる内容も多かった。私自身も、「生態実験園の紹介」という題目で発表を行ったが、他大学の技術職員の方からも、賛同を多く得られたことは収穫であった。今回、Slack を使った事前発表形式がとられており、当日の発表だけでなく、20 日間の開設期間中に情報交換が出来る場があり、発表者の負担は大きくなるが、新しいシステムを経験出来たのは良かった。今回の研究会については、オンラインでの開催であっても、質問の時間を多く設定する、Slack による事前発表の場を設けるなどにより、技術職員間の交流についても、十分に達成出来ていたように感じた。